

調査票③「成功確率」

調査票パターン「1-A・あ」

調査票 1-A・あ		
調査員 ID :		
回答者 ID :		
調査開始時間 :	時	分
調査終了時間 :	時	分

自動車交通事故による社会的な損失に関する調査

「特別な治療法の『成功確率』」に関する質問票

(負傷カード Q →R →U)

——調査票①で「死亡が最も重い」と回答した方——

これからの質問は、あなたが仮に交通事故に遭い、ある負傷状態となってしまったと想像していただきます。そのとき、あなたは「通常の治療法」か「特別な治療法」を選択することができますが、「特別な治療法」の成功確率がどの程度であれば、特別な治療法を受けるかをお聞きするものです。

この「特別な治療法」は、現在研究が進められている最先端の医療技術であり、どんな負傷に対しても、成功した場合にはすぐに完治することができます。ただし、「特別な治療法」を受けて失敗した場合は死亡するかまたはあなたにとって最も望ましくない負傷状態となってしまいます。

さて、これから質問に移りますが、ご回答に際して以下の点に留意してください。

- A: 「通常の治療法」、「特別な治療法」ともに、無料で受けることができます。
- B: また、後遺症による治療費や介護費、収入の減少、その他金銭的な出費（病院までのタクシー代など）などは、別途支払われるものと想定してください。

状況想定をご理解していただけたでしょうか。

それでは次のページから質問に入ります。

先ほど使用した負傷カードのうち、次の **3** 種類を使って、「特別な治療法」を受けても良いとお考えの成功確率をお開きします。それぞれの負傷カードについて、1 つか 2 つの質問がありますので、よく読んでお答えください。

<使用する負傷カード>

- 1) 負傷カード「**Q**」
- 2) 負傷カード「**R**」
- 3) 負傷カード「**U**」

<回答例> 以下の例は、成功確率が **60%**（以上）であれば、特別な治療を受けることを示します。

<input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 0.01% (失敗確率 99.99%)	<input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 30% (失敗確率 70%)	<input type="checkbox"/> 成功確率 90% (失敗確率 10%)
<input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 0.1% (失敗確率 99.9%)	<input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 40% (失敗確率 60%)	<input type="checkbox"/> 成功確率 95% (失敗確率 5%)
<input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 1% (失敗確率 99%)	<input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 50% (失敗確率 50%)	<input type="checkbox"/> 成功確率 99% (失敗確率 1%)
<input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 5% (失敗確率 95%)	<input type="checkbox"/> 成功確率 60% (失敗確率 40%)	<input type="checkbox"/> 成功確率 99.9% (失敗確率 0.1%)
<input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 10% (失敗確率 90%)	<input type="checkbox"/> 成功確率 70% (失敗確率 30%)	<input type="checkbox"/> 成功確率 99.99% (失敗確率 0.01%)
<input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 20% (失敗確率 80%)	<input type="checkbox"/> 成功確率 80% (失敗確率 20%)	

1. 負傷カード「Q」

あなた自身が交通事故に遭って、病院に運ばれたと想像してください。

あなたが、「通常の治療法」を受けた場合の入院中と退院後の経過、後遺症は以下のとおりです。

負傷カード「Q」

【入院中】重症の頭部の怪我のために、6 か月間の入院と、大きな手術が必要となります。脳に深刻な障害を受けているので、呼びかけても反応がありません。

【退院後】一生の間まったくの寝たきり状態となり、社会復帰はできません。常に家族やヘルパーの介護が必要となります。

Q 通常の治療法を受ける場合

入院中(6ヶ月)

※6ヶ月間の入院と、重症の怪我の程度のために大きな手術を行っている。
 ※脳に深刻な障害を受け、呼びかけても反応が薄く、反応があっても手足を動かすのみで、家族の援助が欠かせない。【写真】
 ※自分で歩かずにいるので車いすのところで食事にとりかかっている。食事を取りかねる。


退院後(その後一生)

※状態は入院中と変わらず、一生の間、精神的、肉体的な機能が完全に落ち、まったくの寝たきり状態となる。
 ※社会復帰はできない。
 ※食事は常時家族やヘルパーの介助が必要とする。

【評価項目】	入院中(6ヶ月)				退院後(その後一生)			
	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動(歩行器等)ができるか?	寝たきり	いらいら 問題あり	問題なく できる		寝たきり	いらいら 問題あり	問題なく できる	
身の回りの管理(洗濯や着替え等)を自分でできるか?	自分で できない	いらいら 問題あり	問題なく できる		自分で できない	いらいら 問題あり	問題なく できる	
ふだんの活動(仕事、勉強、家事、余暇活動等)を行うことができるか?	できない	いらいら 問題あり	問題なく できる		できない	いらいら 問題あり	問題なく できる	
痛みや不快感はどの程度か?	問題がない	ひどい	中程度	特になし	問題がない	ひどい	中程度	特になし
不安や心配はどの程度か?	問題がない	ひどい	中程度	特になし	問題がない	ひどい	中程度	特になし

~~~~~ : 通常の治療法を受けた場合の状態     
 ~~~~~ : 通常の治療法を受けた場合の状態

【写真】



1

実はあなたは、「通常の治療法」の他に、無料で「特別な治療法」を受けることが可能です。しかし、その場合の結果は確実ではありません。あなたは、特別な治療法の成功確率を考えながら、特別な治療法を受けるかどうか、それとも通常の治療法を受けるかを決めることになります。

質問 1-a 特別な治療法 A = 事故前の健康体に回復できる治療法

事故前の健康体に回復できる“特別な治療法 A”を受けてみるか、それとも“通常の治療法”をうけるか、判断をしなければなりません。治療費はどちらも無料です。

○ 「成功」した場合、

【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× しかし「失敗」した場合には、即座に死亡します。



【入院時】 6か月入院・大きな手術
【退院後】 寝たきり・社会復帰できず

成功

【入院時】 1日の入院のみ
【退院後】 完全な健康体
後遺症なし

× 失敗
死亡

通常の治療法



特別な治療法 A

あなたなら「特別な治療法 A」の成功の確率がどれほどならこの治療法を選択するでしょうか？ あなたが「特別な治療法 A」を受けてもよいと感じる成功確率に○印を、受けたくないと感じる成功確率に×印を付けて下さい。

【回答欄 1-a】 特別な治療法 A = 事故前の健康体に回復できる治療法

| | | |
|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 成功確率 0.01%
(失敗確率 99.99%) | 成功確率 30%
(失敗確率 70%) | 成功確率 90%
(失敗確率 10%) |
| 成功確率 0.1%
(失敗確率 99.9%) | 成功確率 40%
(失敗確率 60%) | 成功確率 95%
(失敗確率 5%) |
| 成功確率 1%
(失敗確率 99%) | 成功確率 50%
(失敗確率 50%) | 成功確率 99%
(失敗確率 1%) |
| 成功確率 5%
(失敗確率 95%) | 成功確率 60%
(失敗確率 40%) | 成功確率 99.9%
(失敗確率 0.1%) |
| 成功確率 10%
(失敗確率 90%) | 成功確率 70%
(失敗確率 30%) | 成功確率 99.99%
(失敗確率 0.01%) |
| 成功確率 20%
(失敗確率 80%) | 成功確率 80%
(失敗確率 20%) | |

質問 1-b 特別な治療法 B = 退院後の後遺症のみをなくすることができる治療法

後遺症をなくすることができる“特別な治療法 B”を受けてみるか、それとも“通常の治療法”をうけるか、判断をしなければなりません。治療費はどちらも無料です。

○ 「成功」した場合、

【入院中】《通常の治療法と変わらず》。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× しかし「失敗」した場合には、即座に死亡します。



【入院時】 6 か月入院・大きな手術
【退院後】 寝たきり・社会復帰できず

成功

【入院時】 《通常の治療法と変わらず》

【退院後】 健康体・後遺症なし

× 失敗
死亡

通常の治療法

特別な治療法 B

あなたなら「特別な治療法 B」の成功の確率がどれほどならこの治療法を選択するでしょうか？ あなたが「特別な治療法 B」を受けてもよいと感じる成功確率に○印を、受けたくないと感じる成功確率に×印を付けて下さい。

【回答欄 1-b】 特別な治療法 B = 退院後の後遺症のみをなくすることができる治療法

| | | |
|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 成功確率 0.01%
(失敗確率 99.99%) | 成功確率 30%
(失敗確率 70%) | 成功確率 90%
(失敗確率 10%) |
| 成功確率 0.1%
(失敗確率 99.9%) | 成功確率 40%
(失敗確率 60%) | 成功確率 95%
(失敗確率 5%) |
| 成功確率 1%
(失敗確率 99%) | 成功確率 50%
(失敗確率 50%) | 成功確率 99%
(失敗確率 1%) |
| 成功確率 5%
(失敗確率 95%) | 成功確率 60%
(失敗確率 40%) | 成功確率 99.9%
(失敗確率 0.1%) |
| 成功確率 10%
(失敗確率 90%) | 成功確率 70%
(失敗確率 30%) | 成功確率 99.99%
(失敗確率 0.01%) |
| 成功確率 20%
(失敗確率 80%) | 成功確率 80%
(失敗確率 20%) | |

2. 負傷カード「R」

あなた自身が交通事故に遭って、病院に運ばれたと想像してください。

あなたが、「通常の治療法」を受けた場合の入院中と退院後の経過、後遺症は以下のとおりです。

負傷カード「R」

【入院中】 3 か月から 6 か月間の入院と、大きな手術が必要となります。数週間にわたり人工呼吸装置を付けられ、この間は何もわかりません。意識が戻った後には、強い痛みや不眠があり、薬の注射や内服が必要となります。

【退院後】 後遺症が残り、仕事の職種に制限を受けます。痛みや不眠に対しては、薬の内服が必要となります。

R 通常の治療法を受ける場合

入院中(3~6ヶ月)

※ 次の①~③のどれか、あるいは複数の項目を言い、2~6ヶ月間の入院と大きな手術が必要となる。
 ① 頭の中の出血と脳の損傷を言い、手術が行われる。
 ② 内臓(心臓)の破裂と出血に対して(緊急の)手術が行われ、後ほ人工心臓となる。【写真2】
 ③ 両足の神経を断る手術が行われる。【写真3】

※ 意識が戻らないうちに人工呼吸装置を付けられ、薬で寝かされる。この間は何もわからない。
 ※ 意識が戻った後には、強い痛みや不眠があり、薬の注射や内服が必要となる。

退院後(その後一生)


※ 社会復帰はできるが、次の①~③のどれか、あるいは複数の後遺症が残る。仕事の職種に制限を受ける。
 ※ 痛みや不眠に対しては、薬の内服が必要となる。

① 脳の損傷のために頭から液体を流し出す。薬に薬を飲んでいけば液体は流さない。
 ② 人工心臓も問題なく使えるようになる。【写真2】
 ③ 義肢的に手足の足指の関節が動かなくなるので、手足に器具をつけることになる(もう一方の足は治療する)。毎朝の朝にリハビリで自力歩行ができる。【写真3】


| 【評価項目】 | 入院中(3~6ヶ月) | | | | 退院後(その後一生) | | | | |
|---------------------------------|------------|---------|---------|---------|------------|---------|---------|---------|---------|
| | 強い状態 | レベル4 | レベル3 | レベル2 | レベル1 | レベル4 | レベル3 | レベル2 | レベル1 |
| 意識(目覚める等)ができるか? | 意識あり | 意識あり | 意識あり | 意識あり | 意識あり | 意識あり | 意識あり | 意識あり | 意識あり |
| 身の回りの管理(洗面や着脱等)が自分でできるか? | 自分でできない | 自分でできない | 自分でできない | 自分でできない | 自分でできない | 自分でできない | 自分でできない | 自分でできない | 自分でできない |
| ふだんの活動(仕事、散歩、買い物・余暇活動)が自分でできるか? | できない | できない | できない | できない | できない | できない | できない | できない | できない |
| 痛みや不眠などの程度か? | 薬が効かない | ひどい | 中程度 | 特になし | 薬が効かない | ひどい | 中程度 | 特になし | 薬が効かない |
| 不安や心配込みなどの程度か? | 薬が効かない | ひどい | 中程度 | 特になし | 薬が効かない | ひどい | 中程度 | 特になし | 薬が効かない |

---- : 通常の治療法を受けた場合の状態
---- : 通常の治療法を受けた場合の状態

【写真2】



【写真3】



- 6 -

質問 2-a 特別な治療法 A = 事故前の健康体に回復できる治療法

事故前の健康体に回復できる“特別な治療法 A”を受けてみるか、それとも“通常の治療法”をうけるか、判断をしなければなりません。治療費はどちらも無料です。

○ 「成功」した場合、

【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× しかし「失敗」した場合には、即座に死亡します。



【入院時】 3~6か月入院・大きな手術
【退院後】 後遺症あり・仕事の職種に制限

成功
【入院時】 1日の入院のみ
【退院後】 完全な健康体
後遺症なし

× 失敗
死亡

通常の治療法



特別な治療法 A

あなたなら「特別な治療法 A」の成功の確率がどれほどならこの治療法を選択するでしょうか？ あなたが「特別な治療法 A」を受けてもよいと感じる成功確率に○印を、受けたくないと感じる成功確率に×印を付けて下さい。

【回答欄 2-a】 特別な治療法 A = 事故前の健康体に回復できる治療法

| | | |
|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 成功確率 0.01%
(失敗確率 99.99%) | 成功確率 30%
(失敗確率 70%) | 成功確率 90%
(失敗確率 10%) |
| 成功確率 0.1%
(失敗確率 99.9%) | 成功確率 40%
(失敗確率 60%) | 成功確率 95%
(失敗確率 5%) |
| 成功確率 1%
(失敗確率 99%) | 成功確率 50%
(失敗確率 50%) | 成功確率 99%
(失敗確率 1%) |
| 成功確率 5%
(失敗確率 95%) | 成功確率 60%
(失敗確率 40%) | 成功確率 99.9%
(失敗確率 0.1%) |
| 成功確率 10%
(失敗確率 90%) | 成功確率 70%
(失敗確率 30%) | 成功確率 99.99%
(失敗確率 0.01%) |
| 成功確率 20%
(失敗確率 80%) | 成功確率 80%
(失敗確率 20%) | |

質問 2-b 特別な治療法 B = 退院後の後遺症のみをなくすることができる治療法

後遺症をなくすることができる“特別な治療法 B”を受けてみるか、それとも“通常の治療法”をうけるか、判断をしなければなりません。治療費はどちらも無料です。

○ 「成功」した場合、

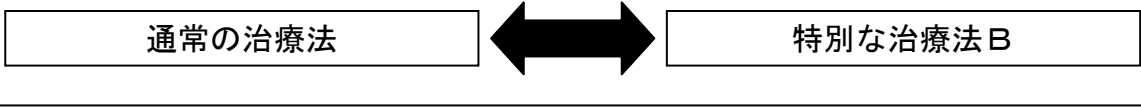
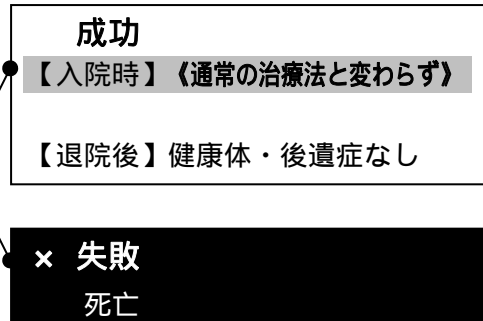
【入院中】《通常の治療法と変わらず》。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× しかし「失敗」した場合には、即座に死亡します。



【入院時】 3~6 か月入院・大きな手術
【退院後】 後遺症あり・仕事の職種に制限



あなたなら「特別な治療法 B」の成功の確率がどれほどならこの治療法を選択するでしょうか？ あなたが「特別な治療法 B」を受けてもよいと感じる成功確率に○印を、受けたくないと感じる成功確率に×印を付けて下さい。

【回答欄 2-b】 特別な治療法 B = 退院後の後遺症のみをなくすることができる治療法

| | | |
|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 成功確率 0.01%
(失敗確率 99.99%) | 成功確率 30%
(失敗確率 70%) | 成功確率 90%
(失敗確率 10%) |
| 成功確率 0.1%
(失敗確率 99.9%) | 成功確率 40%
(失敗確率 60%) | 成功確率 95%
(失敗確率 5%) |
| 成功確率 1%
(失敗確率 99%) | 成功確率 50%
(失敗確率 50%) | 成功確率 99%
(失敗確率 1%) |
| 成功確率 5%
(失敗確率 95%) | 成功確率 60%
(失敗確率 40%) | 成功確率 99.9%
(失敗確率 0.1%) |
| 成功確率 10%
(失敗確率 90%) | 成功確率 70%
(失敗確率 30%) | 成功確率 99.99%
(失敗確率 0.01%) |
| 成功確率 20%
(失敗確率 80%) | 成功確率 80%
(失敗確率 20%) | |

あなた自身が交通事故に遭って、病院に運ばれたと想像してください。

あなたが、「通常の治療法」を受けた場合の入院中と退院後の経過、後遺症は以下のとおりです。

負傷カード「U」

【入院中】 1 か月から 3 か月間の入院と、いくらかの手術や処置が必要となります。身体の動きがかなり制限され、痛みや不眠があり、薬の注射や内服が必要となります。

【退院後】 後遺症が残り、仕事に制限を受けます。痛みや不眠に対しては、しばらくの間は薬の内服が必要となります。

U 通常の治療法を受ける場合

負傷の状態

【評価項目】

- ▶ 移動（歩行・転車等）ができるか？
- ▶ 身の回りの管理（食事や着替え等）を自分でできるか？
- ▶ 自らの活動（仕事、勉強、家事・通勤・通学等）を行うことができるか？
- ▶ 痛みや不眠状態はどの程度か？
- ▶ 不安や心配感込みはどの程度か？

負傷の具体例

| 入院中（1〜3ヶ月） | | 退院後（その後一生） | | | |
|---|---------------|--|-------------|---------------|---------------|
| <p>※ 次の①〜③のどれか、あるいは複数の項目を長い、1〜3ヶ月間の入院といくらかの手術や処置が必要となる。</p> <p>① 腕の怪我のために腕や手が麻痺する。握力が十分に低下する必要がある。</p> <p>【写真1】</p> <p>② 手の指と指の間が麻痺し、手術が行われる。</p> <p>③ 骨盤の骨が折れて、歩行は難しい。手術による骨の固定が必要となる。【写真2】</p> <p>※ 痛みや不眠があり、薬の注射や内服が必要となる。</p> <p>※ 上記の手術や処置のために、入院中は身体の動きがかなり制限される。</p> | | <p>※ 社会復帰はできるが、次の①〜③のどれか、あるいは複数の項目が残って、仕事に制限を受ける。</p> <p>※ 痛みや不眠に対しては、しばらくの間は薬の内服が必要となる。</p> <p>① 腕の骨は折れなくなると、腕や手に力が入りやすくなるが、長い期間を待たずに徐々に回復していき、仕事に復帰できる。</p> <p>② 手の指が麻痺し、歩行に制限があるが、長い期間を待たずに徐々に回復していき、仕事に復帰できる。</p> <p>③ 骨盤の骨が折れて、歩行に制限があるが、長い期間を待たずに徐々に回復していき、仕事に復帰できる。</p> | | | |
| 悪い状態 | 良い状態 | 悪い状態 | 良い状態 | | |
| レベル4 | レベル3 | レベル2 | レベル1 | | |
| 移動 | いじょうか
困難あり | 困難なく
できる | 移動 | いじょうか
困難あり | 困難なく
できる |
| 身の回り | 自分で
できない | いじょうか
困難あり | 困難なく
できる | 自分で
できない | いじょうか
困難あり |
| 活動 | できない | いじょうか
困難あり | 困難なく
できる | できない | いじょうか
困難あり |
| 痛み | 強い | ひどい | 中程度 | 強い | ひどい |
| 不安 | 強い | ひどい | 中程度 | 強い | ひどい |

.....:通常の治療法を受けた場合の状態

【写真1】



【写真2】



質問 3-a 特別な治療法 A = 事故前の健康体に回復できる治療法

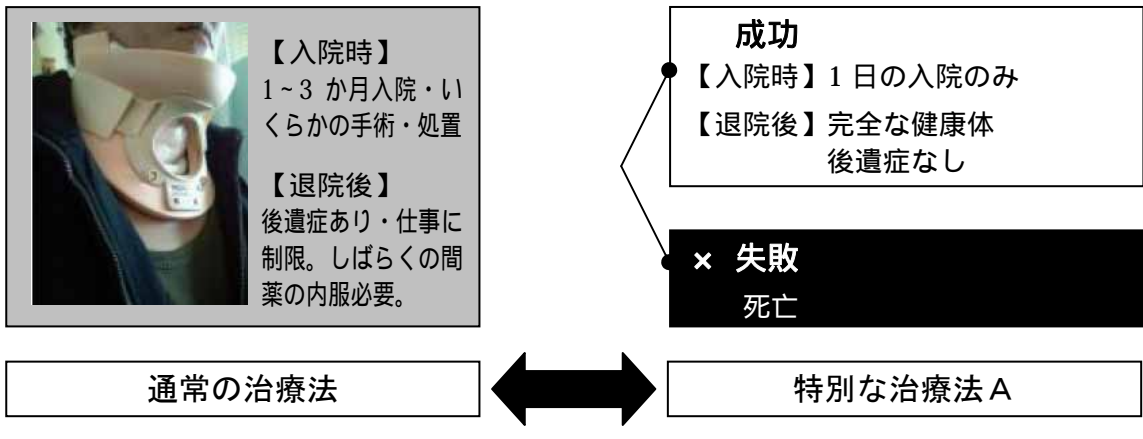
事故前の健康体に回復できる“特別な治療法 A”を受けてみるか、それとも“通常の治療法”をうけるか、判断をしなければなりません。治療費はどちらも無料です。

○ 「成功」した場合、

【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× しかし「失敗」した場合には、即座に死亡します。



あなたなら「特別な治療法 A」の成功の確率がどれほどならこの治療法を選択するでしょうか？ あなたが「特別な治療法 A」を受けてもよいと感じる成功確率に○印を、受けたくないと感じる成功確率に×印を付けて下さい。

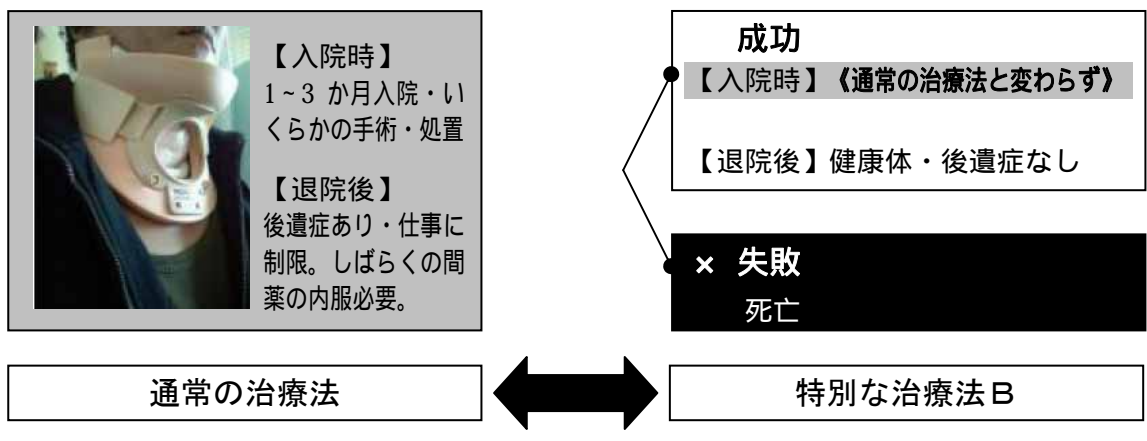
【回答欄 3-a】 特別な治療法 A = 事故前の健康体に回復できる治療法

| | | |
|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 成功確率 0.01%
(失敗確率 99.99%) | 成功確率 30%
(失敗確率 70%) | 成功確率 90%
(失敗確率 10%) |
| 成功確率 0.1%
(失敗確率 99.9%) | 成功確率 40%
(失敗確率 60%) | 成功確率 95%
(失敗確率 5%) |
| 成功確率 1%
(失敗確率 99%) | 成功確率 50%
(失敗確率 50%) | 成功確率 99%
(失敗確率 1%) |
| 成功確率 5%
(失敗確率 95%) | 成功確率 60%
(失敗確率 40%) | 成功確率 99.9%
(失敗確率 0.1%) |
| 成功確率 10%
(失敗確率 90%) | 成功確率 70%
(失敗確率 30%) | 成功確率 99.99%
(失敗確率 0.01%) |
| 成功確率 20%
(失敗確率 80%) | 成功確率 80%
(失敗確率 20%) | |

質問 3-b 特別な治療法 B = 退院後の後遺症のみをなくすることができる治療法

後遺症をなくすることができる“特別な治療法 B”を受けてみるか、それとも“通常の治療法”をうけるか、判断をしなければなりません。治療費はどちらも無料です。

- 「成功」した場合、
 【入院中】《通常の治療法と変わらず》。
- 【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。
- × しかし「失敗」した場合には、即座に死亡します。



あなたなら「特別な治療法 B」の成功の確率がどれほどならこの治療法を選択するでしょうか？ あなたが「特別な治療法 B」を受けてもよいと感じる成功確率に○印を、受けたくないと感じる成功確率に×印を付けて下さい。

【回答欄 3-b】 特別な治療法 B = 退院後の後遺症のみをなくすることができる治療法

| | | |
|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 成功確率 0.01%
(失敗確率 99.99%) | 成功確率 30%
(失敗確率 70%) | 成功確率 90%
(失敗確率 10%) |
| 成功確率 0.1%
(失敗確率 99.9%) | 成功確率 40%
(失敗確率 60%) | 成功確率 95%
(失敗確率 5%) |
| 成功確率 1%
(失敗確率 99%) | 成功確率 50%
(失敗確率 50%) | 成功確率 99%
(失敗確率 1%) |
| 成功確率 5%
(失敗確率 95%) | 成功確率 60%
(失敗確率 40%) | 成功確率 99.9%
(失敗確率 0.1%) |
| 成功確率 10%
(失敗確率 90%) | 成功確率 70%
(失敗確率 30%) | 成功確率 99.99%
(失敗確率 0.01%) |
| 成功確率 20%
(失敗確率 80%) | 成功確率 80%
(失敗確率 20%) | |

調査票③「成功確率」

調査票パターン「1-A・あ」

空白ページ

| 調査票 1-A・い | | |
|-----------|---|---|
| 調査員 ID : | | |
| 回答者 ID : | | |
| 調査開始時間 : | 時 | 分 |
| 調査終了時間 : | 時 | 分 |

「特別な治療法の『成功確率』」に関する質問票

(負傷カード Q →R →U)

——調査票①で「死亡より重い負傷がある」と回答した方——

これからの質問は、あなたが仮に交通事故に遭い、ある負傷状態となってしまったと想像していただきます。そのとき、あなたは「通常の治療法」か「特別な治療法」を選択することができますが、「特別な治療法」の成功確率がどの程度であれば、特別な治療法を受けるかをお聞きするものです。

この「特別な治療法」は、現在研究が進められている最先端の医療技術であり、どんな負傷に対しても、成功した場合にはすぐに完治することができます。ただし、「特別な治療法」を受けて失敗した場合は死亡するかまたはあなたにとって最も望ましくない負傷状態となってしまいます。

さて、これから質問に移りますが、ご回答に際して以下の点に留意してください。

- A: 「通常の治療法」、「特別な治療法」ともに、無料で受けることができます。
- B: また、後遺症による治療費や介護費、収入の減少、その他金銭的な出費（病院までのタクシー代など）などは、別途支払われるものと想定してください。

状況想定をご理解していただけたでしょうか。

それでは次のページから質問に入ります。

先ほど使用した負傷カードのうち、次の **3** 種類を使って、「特別な治療法」を受けても良いとお考えの成功確率をお開きします。それぞれの負傷カードについて、1 つか 2 つの質問がありますので、よく読んでお答えください。

<使用する負傷カード>

- 1) 負傷カード「**Q**」
- 2) 負傷カード「**R**」
- 3) 負傷カード「**U**」

<回答例> 以下の例は、成功確率が **60%**（以上）であれば、特別な治療を受けることを示します。

| | | |
|--|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 0.01%
(失敗確率 99.99%) | <input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 30%
(失敗確率 70%) | <input type="checkbox"/> 成功確率 90%
(失敗確率 10%) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 0.1%
(失敗確率 99.9%) | <input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 40%
(失敗確率 60%) | <input type="checkbox"/> 成功確率 95%
(失敗確率 5%) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 1%
(失敗確率 99%) | <input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 50%
(失敗確率 50%) | <input type="checkbox"/> 成功確率 99%
(失敗確率 1%) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 5%
(失敗確率 95%) | <input type="checkbox"/> 成功確率 60%
(失敗確率 40%) | <input type="checkbox"/> 成功確率 99.9%
(失敗確率 0.1%) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 10%
(失敗確率 90%) | <input type="checkbox"/> 成功確率 70%
(失敗確率 30%) | <input type="checkbox"/> 成功確率 99.99%
(失敗確率 0.01%) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 成功確率 20%
(失敗確率 80%) | <input type="checkbox"/> 成功確率 80%
(失敗確率 20%) | |

1. 負傷カード「Q」

あなた自身が交通事故に遭って、病院に運ばれたと想像してください。あなたは瀕死の状態になっており、「**通常の治療法**」では**24時間以内に死亡**します。

実はあなたは、「通常の治療法」の他に、無料で「特別な治療法」を受けることが可能です。しかし、その場合の結果は確実ではありません。あなたは、特別な治療法の成功確率を考えながら、特別な治療法を受けるかどうか、それとも通常の治療法を受けるかを決めることになります。

質問 1 特別な治療法 = 事故前の健康体に回復できる治療法

事故前の健康体に回復できる“特別な治療法”を受けてみるか、それとも“通常の治療法”をうけるか、判断をしなければなりません。治療費はどちらも無料です。

○ 「成功」した場合、

【入院中】 1日の入院で退院することができます。入院中の痛みやつらさはありません。

【退院後】 事故前の健康体に戻ります。後遺症はなく痛みやつらさはまったくありません。

× しかし「失敗」した場合、次のような状態となります。

【入院中】 重症の頭部の怪我のために、6か月間の入院と、大きな手術が必要となります。脳に深刻な障害を受けているので、呼びかけても反応がありません。

【退院後】 一生の間まったくの寝たきり状態となり、社会復帰はできません。常に家族やヘルパーの介護が必要となります。

死 亡

成功

【入院時】 1日の入院のみ

【退院後】 完全な健康体
後遺症なし

× 失敗



【入院時】 6か月入院・大きな手術
【退院後】 寝たきり・社会復帰できず

通常の治療法



特別な治療法

負傷カード「Q」

【入院中】重症の頭部の怪我のために、6か月間の入院と、大きな手術が必要となります。脳に深刻な障害を受けているので、呼びかけても反応がありません。

【退院後】一生の間まったくの寝たきり状態となり、社会復帰はできません。常に家族やヘルパーの介護が必要となります。

Q 通常の治療法を受ける場合

| 【評価項目】 | 入院中(6ヶ月) | | | | 退院後(その後一生) | | | |
|-----------------------------------|----------|------|------|------|------------|------|------|------|
| | レベル4 | レベル3 | レベル2 | レベル1 | レベル4 | レベル3 | レベル2 | レベル1 |
| 移動(歩行器等)ができるか? | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 身の回りの管理(食事や着替え等)が自分でできるか? | × | × | × | × | × | × | × | × |
| ふだんの活動(仕事、勉強、娯楽・余暇活動等)を行うことができるか? | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 痛みや不快感などの程度か? | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 不安や不安感などの程度か? | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

○: 通常の治療法を受けた場合の状態
×: 通常の治療法を受けた場合の状態

【写真】


あなたなら「特別な治療法」の成功の確率がどれほどならこの治療法を選択するでしょうか？ あなたが「特別な治療法」を受けてもよいと感じる成功確率に○印を、受けたくないと感じる成功確率に×印を付けて下さい。

【回答欄 1】 特別な治療法 = 事故前の健康体に回復できる治療法

| | | |
|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 成功確率 0.01%
(失敗確率 99.99%) | 成功確率 30%
(失敗確率 70%) | 成功確率 90%
(失敗確率 10%) |
| 成功確率 0.1%
(失敗確率 99.9%) | 成功確率 40%
(失敗確率 60%) | 成功確率 95%
(失敗確率 5%) |
| 成功確率 1%
(失敗確率 99%) | 成功確率 50%
(失敗確率 50%) | 成功確率 99%
(失敗確率 1%) |
| 成功確率 5%
(失敗確率 95%) | 成功確率 60%
(失敗確率 40%) | 成功確率 99.9%
(失敗確率 0.1%) |
| 成功確率 10%
(失敗確率 90%) | 成功確率 70%
(失敗確率 30%) | 成功確率 99.99%
(失敗確率 0.01%) |
| 成功確率 20%
(失敗確率 80%) | 成功確率 80%
(失敗確率 20%) | |

2. 負傷カード「R」

あなた自身が交通事故に遭って、病院に運ばれたと想像してください。

あなたが、「通常の治療法」を受けた場合の入院中と退院後の経過、後遺症は以下のとおりです。

負傷カード「R」

R 通常の治療法を受ける場合

【入院中】 3 か月から 6 か月間の入院と、大きな手術が必要となります。数週間にわたり人工呼吸装置を付けられ、この間は何もわかりません。意識が戻った後には、強い痛みや不眠があり、薬の注射や内服が必要となります。

【退院後】 後遺症が残り、仕事の職種に制限を受けます。痛みや不眠に対しては、薬の内服が必要となります。

負傷の状態

入院中(3~6ヶ月)

※ 次の①~③のどれか、あるいは複数の項目を負い、2~6ヶ月間の入院と大きな手術が必要となる。

① 頭の中の出血と脳の損傷を負い、手術が行われる。

② 内臓(心臓)の破裂と出血に対して(緊急の)手術が行われ、後ほ人工心臓となる。【写真②】

③ 両足の神経脊髄で手術が行われる。【写真③】

※ 救急隊にわたり人工呼吸装置を付けられ、薬で寝かされる。この間は何もわからない。

※ 意識が戻った後には、強い痛みや不眠があり、薬の注射や内服が必要となる。

退院後(その後一生)

※ 社会復帰はできるが、次の①~③のどれか、あるいは複数の後遺症が残る。仕事の職種に制限を受ける。

※ 痛みや不眠に対しては、薬の内服が必要となる。


① 脳の損傷のためにてんかん発作を起こすが、薬に薬を飲んでいけば発作は起こらない。

② 人工心臓も問題なく使えるようになる。【写真②】


③ 最終的に片足の足先の関節が動かなくなるので、手足に器具をつけることになる(もう片方の足を治療する)。毎朝朝の10分程度自力歩行ができる。【写真③】

負傷の具体例

【写真②】



【写真③】



【詳細項目】

行動(歩行)が出来るか? → 入院中: 出来ない / 退院後: 出来る

身の回りの管理(洗濯や着替え)が自分で出来るか? → 入院中: 出来ない / 退院後: 出来る

自分の移動(仕事、移動、買物・金融的行動)を行うことが出来るか? → 入院中: 出来ない / 退院後: 出来る

痛みや不眠はどの程度か? → 入院中: 非常に強い / 退院後: 中程度

不安や心配はどの程度か? → 入院中: 非常に強い / 退院後: 中程度

- 5 -

質問 2-a 特別な治療法 A = 事故前の健康体に回復できる治療法

事故前の健康体に回復できる“特別な治療法 A”を受けてみるか、それとも“通常の治療法”をうけるか、判断をしなければなりません。治療費はどちらも無料です。

○ 「成功」した場合、

【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× しかし「失敗」した場合には、即座に死亡します。



【入院時】 3~6か月入院・大きな手術
【退院後】 後遺症あり・仕事の職種に制限

成功

【入院時】 1日の入院のみ
【退院後】 完全な健康体
後遺症なし

× 失敗
死亡

通常の治療法



特別な治療法 A

あなたなら「特別な治療法 A」の成功の確率がどれほどならこの治療法を選択するでしょうか？ あなたが「特別な治療法 A」を受けてもよいと感じる成功確率に○印を、受けたくないと感じる成功確率に×印を付けて下さい。

【回答欄 2-a】 特別な治療法 A = 事故前の健康体に回復できる治療法

| | | |
|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 成功確率 0.01%
(失敗確率 99.99%) | 成功確率 30%
(失敗確率 70%) | 成功確率 90%
(失敗確率 10%) |
| 成功確率 0.1%
(失敗確率 99.9%) | 成功確率 40%
(失敗確率 60%) | 成功確率 95%
(失敗確率 5%) |
| 成功確率 1%
(失敗確率 99%) | 成功確率 50%
(失敗確率 50%) | 成功確率 99%
(失敗確率 1%) |
| 成功確率 5%
(失敗確率 95%) | 成功確率 60%
(失敗確率 40%) | 成功確率 99.9%
(失敗確率 0.1%) |
| 成功確率 10%
(失敗確率 90%) | 成功確率 70%
(失敗確率 30%) | 成功確率 99.99%
(失敗確率 0.01%) |
| 成功確率 20%
(失敗確率 80%) | 成功確率 80%
(失敗確率 20%) | |

質問 2-b 特別な治療法 B = 退院後の後遺症のみをなくすることができる治療法

後遺症をなくすることができる“特別な治療法 B”を受けてみるか、それとも“通常の治療法”をうけるか、判断をしなければなりません。治療費はどちらも無料です。

○ 「成功」した場合、

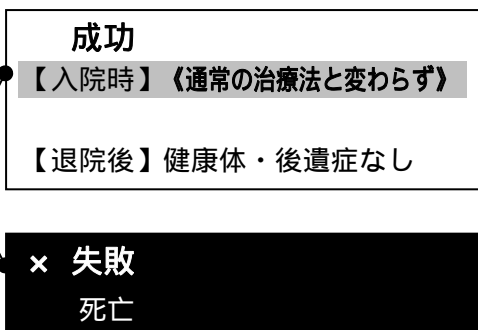
【入院中】《通常の治療法と変わらず》。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× しかし「失敗」した場合には、即座に死亡します。



【入院時】 3~6 か月入院・大きな手術
【退院後】 後遺症あり・仕事の職種に制限



あなたなら「特別な治療法 B」の成功の確率がどれほどならこの治療法を選択するでしょうか？ あなたが「特別な治療法 B」を受けてもよいと感じる成功確率に○印を、受けたくないと感じる成功確率に×印を付けて下さい。

【回答欄 2-b】 特別な治療法 B = 退院後の後遺症のみをなくすることができる治療法

| | | |
|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 成功確率 0.01%
(失敗確率 99.99%) | 成功確率 30%
(失敗確率 70%) | 成功確率 90%
(失敗確率 10%) |
| 成功確率 0.1%
(失敗確率 99.9%) | 成功確率 40%
(失敗確率 60%) | 成功確率 95%
(失敗確率 5%) |
| 成功確率 1%
(失敗確率 99%) | 成功確率 50%
(失敗確率 50%) | 成功確率 99%
(失敗確率 1%) |
| 成功確率 5%
(失敗確率 95%) | 成功確率 60%
(失敗確率 40%) | 成功確率 99.9%
(失敗確率 0.1%) |
| 成功確率 10%
(失敗確率 90%) | 成功確率 70%
(失敗確率 30%) | 成功確率 99.99%
(失敗確率 0.01%) |
| 成功確率 20%
(失敗確率 80%) | 成功確率 80%
(失敗確率 20%) | |

3. 負傷カード「U」

あなた自身が交通事故に遭って、病院に運ばれたと想像してください。

あなたが、「通常の治療法」を受けた場合の入院中と退院後の経過、後遺症は以下のとおりです。

負傷カード「U」

【入院中】 1 か月から 3 か月間の入院と、いくらかの手術や処置が必要となります。身体の動きがかなり制限され、痛みや不眠があり、薬の注射や内服が必要となります。

【退院後】 後遺症が残り、仕事に制限を受けます。痛みや不眠に対しては、しばらくの間は薬の内服が必要となります。

U 通常の治療法を受ける場合

入院中(1~3ヶ月)

※次の①~③のどれか、あるいは複数の項目を長い、1~3ヶ月間の入院といくらかの手術や処置が必要になる。

①薬の投与のために腕や手が麻痺する。薬が動かないように固定する処置が行われる。【写真1】

②足の親指と中指が麻痺し、手術が行われる。③骨盤の骨が折れて、歩行は動けない。手術による骨の固定が必要となる。【写真2】

※痛みや不眠があり、薬の注射や内服が必要となる。④上記の手術や処置のために、入院中は身体の動きがかなり制限される。

退院後(その後一生)

※社会復帰はできるが、次の①~③のどれか、あるいは複数の後遺症が残る。仕事に制限を受ける。④痛みや不眠に対しては、しばらくの間は薬の内服が必要となる。


①薬の投与はまもなく、腕や手にけりどりとし、痛みが残り、高い頻度で痛みを繰り返す。②足の固定は、歩行に制限がある。③身体を動かすと腕に痛みがある。高い頻度で痛みを繰り返している。【写真3】

【評価項目】


| | 入院中(1~3ヶ月) | | | | 退院後(その後一生) | | | | | | | |
|---------------------------------------|------------|----------|---------|------|------------|---------|------|----------|---------|-----|-----|------|
| | レベル4 | レベル3 | レベル2 | レベル1 | レベル4 | レベル3 | レベル2 | レベル1 | | | | |
| 移動(歩いたり車いすに乗ったり)ができるか? | できない | いくらか困難あり | 困難なくできる | できない | いくらか困難あり | 困難なくできる | できない | いくらか困難あり | 困難なくできる | | | |
| 車の回りの管理(向道や信号機等)を自分でできるか? | できない | いくらか困難あり | 困難なくできる | できない | いくらか困難あり | 困難なくできる | できない | いくらか困難あり | 困難なくできる | | | |
| 自分の身の回りの管理(食事、服薬、入浴、排泄、移動)を行うことができるか? | できない | いくらか困難あり | 困難なくできる | できない | いくらか困難あり | 困難なくできる | できない | いくらか困難あり | 困難なくできる | | | |
| 痛みや不眠はどの程度か? | 重篤(5) | ひどい | 中程度 | 軽くなし | 重篤(5) | ひどい | 中程度 | 軽くなし | 重篤(5) | ひどい | 中程度 | 軽くなし |
| 不安や心配はどの程度か? | 重篤(5) | ひどい | 中程度 | 軽くなし | 重篤(5) | ひどい | 中程度 | 軽くなし | 重篤(5) | ひどい | 中程度 | 軽くなし |

.....:通常の治療法を受けた場合の状態

【写真1】



【写真2】



1

質問 3-a 特別な治療法 A = 事故前の健康体に回復できる治療法


事故前の健康体に回復できる“特別な治療法 A”を受けてみるか、それとも“通常の治療法”をうけるか、判断をしなければなりません。治療費はどちらも無料です。

○ 「成功」した場合、

【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× しかし「失敗」した場合には、即座に死亡します。



【入院時】
1~3 か月入院・いくらかの手術・処置

【退院後】
後遺症あり・仕事に制限。しばらくの間薬の内服必要。

成功

【入院時】1日の入院のみ

【退院後】完全な健康体
後遺症なし

× 失敗
死亡



あなたなら「特別な治療法 A」の成功の確率がどれほどならこの治療法を選択するでしょうか？ あなたが「特別な治療法 A」を受けてもよいと感じる成功確率に○印を、受けたくないと感じる成功確率に×印を付けて下さい。

【回答欄 3-a】 特別な治療法 A = 事故前の健康体に回復できる治療法

| | | |
|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 成功確率 0.01%
(失敗確率 99.99%) | 成功確率 30%
(失敗確率 70%) | 成功確率 90%
(失敗確率 10%) |
| 成功確率 0.1%
(失敗確率 99.9%) | 成功確率 40%
(失敗確率 60%) | 成功確率 95%
(失敗確率 5%) |
| 成功確率 1%
(失敗確率 99%) | 成功確率 50%
(失敗確率 50%) | 成功確率 99%
(失敗確率 1%) |
| 成功確率 5%
(失敗確率 95%) | 成功確率 60%
(失敗確率 40%) | 成功確率 99.9%
(失敗確率 0.1%) |
| 成功確率 10%
(失敗確率 90%) | 成功確率 70%
(失敗確率 30%) | 成功確率 99.99%
(失敗確率 0.01%) |
| 成功確率 20%
(失敗確率 80%) | 成功確率 80%
(失敗確率 20%) | |

質問 3-b 特別な治療法 B = 退院後の後遺症のみをなくすることができる治療法

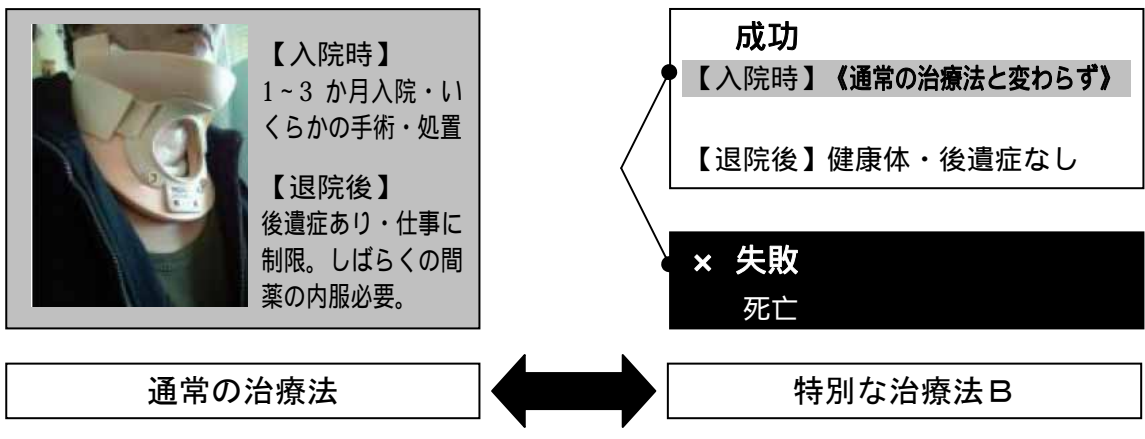
後遺症をなくすることができる“特別な治療法 B”を受けてみるか、それとも“通常の治療法”を受けるか、判断をしなければなりません。治療費はどちらも無料です。

○ 「成功」した場合、

【入院中】《通常の治療法と変わらず》。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× しかし「失敗」した場合には、即座に死亡します。



あなたなら「特別な治療法 B」の成功の確率がどれほどならこの治療法を選択するでしょうか？ あなたが「特別な治療法 B」を受けてもよいと感じる成功確率に○印を、受けたくないと感じる成功確率に×印を付けて下さい。

【回答欄 3-b】 特別な治療法 B = 退院後の後遺症のみをなくすることができる治療法

| | | |
|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 成功確率 0.01%
(失敗確率 99.99%) | 成功確率 30%
(失敗確率 70%) | 成功確率 90%
(失敗確率 10%) |
| 成功確率 0.1%
(失敗確率 99.9%) | 成功確率 40%
(失敗確率 60%) | 成功確率 95%
(失敗確率 5%) |
| 成功確率 1%
(失敗確率 99%) | 成功確率 50%
(失敗確率 50%) | 成功確率 99%
(失敗確率 1%) |
| 成功確率 5%
(失敗確率 95%) | 成功確率 60%
(失敗確率 40%) | 成功確率 99.9%
(失敗確率 0.1%) |
| 成功確率 10%
(失敗確率 90%) | 成功確率 70%
(失敗確率 30%) | 成功確率 99.99%
(失敗確率 0.01%) |
| 成功確率 20%
(失敗確率 80%) | 成功確率 80%
(失敗確率 20%) | |